決算レポート

2019年6月期第2四半期

株式会社 カワニシホールディングス

（証券コード：2689）

アジェンダ

- 会社概要
- 2019年6月期第二四半期業績概要
- 2019年6月期業績見通し･配当の基本方針
- 市場動向と中期展望
- 医療機器輸入販売事業
- 医工連携
- SPD事業、介護用品事業
- 業務の合理化･効率化
- コーポレート･ガバナンス　ほか
- Medical　Globe関連他
- 参考資料

会社概要

会社概要

商　号	株式会社カワニシホールディングス
本　社	岡山市北区下石井一丁目1番3号
創　業	大正10年（1921年）5月
設　立	昭和42年（1967年）10月
代表者	代表取締役社長　前島 洋平
資本金	607,750千円
従業員	1,172名　（連結･2018年12月末）
決算期	6月末

創業

1870年
岡山藩医学館大病院
開設がはじまり

1922年
県病院（元藩医学館）から
岡山医科大学付属病院に

倉敷中央病院
1923年開設

岡山大学病院
1922年開設

川西器械店
1921年創業

地域医療の発展とともに成長

グループ各社の概要

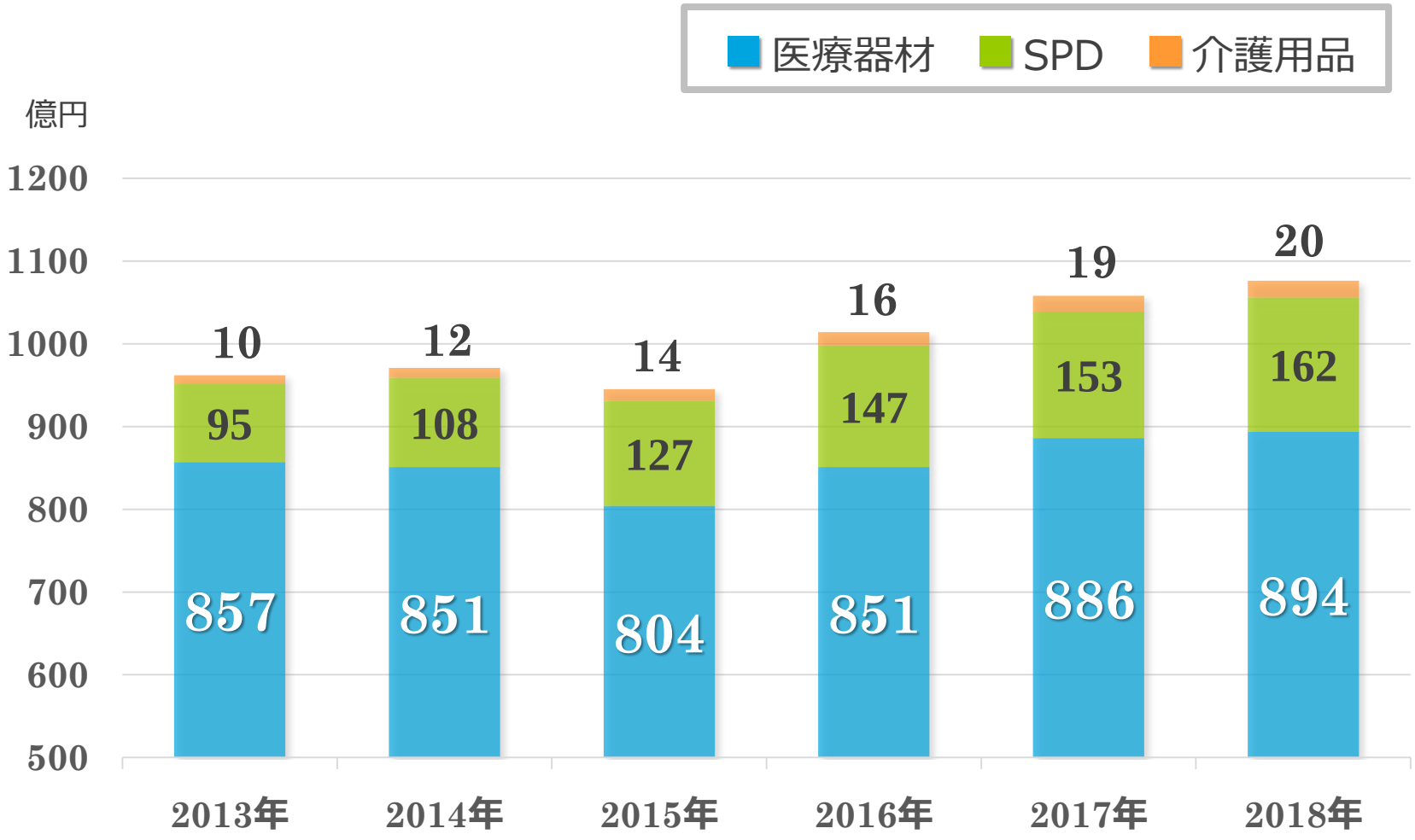
整形・循環器・手術関連・眼科～介護まで多様な事業ポートフォリオ

カワニシHD

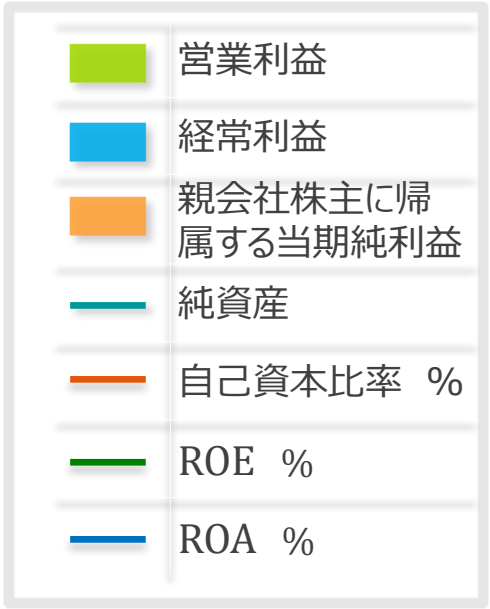
- 戦略立案
- ガバナンス
- コンプライアンス
- ファイナンス
- 資源配分

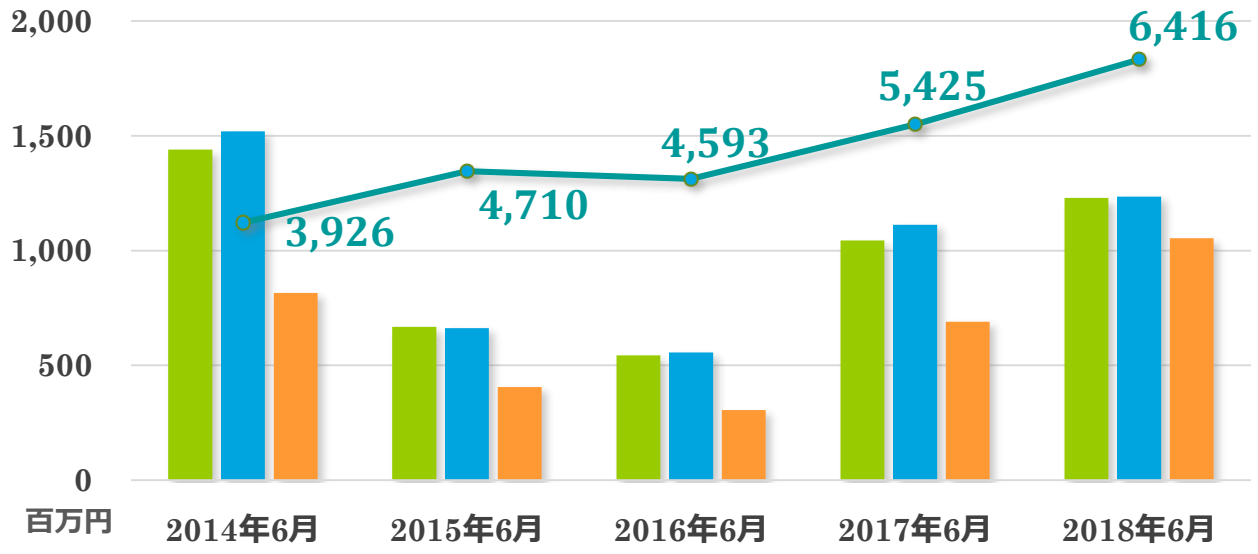
医療器材 中核事業	カワニシ	中国・四国・兵庫
	サンセイ	東北
	日光医科	近畿（大阪・奈良）
SPD	ホスネット	医材の購買物流管理等
介護用品	ライフケア	レンタル・販売・住宅改修
輸入＆総販売代理	エクソーラ	呼気診断・教育用ロボット

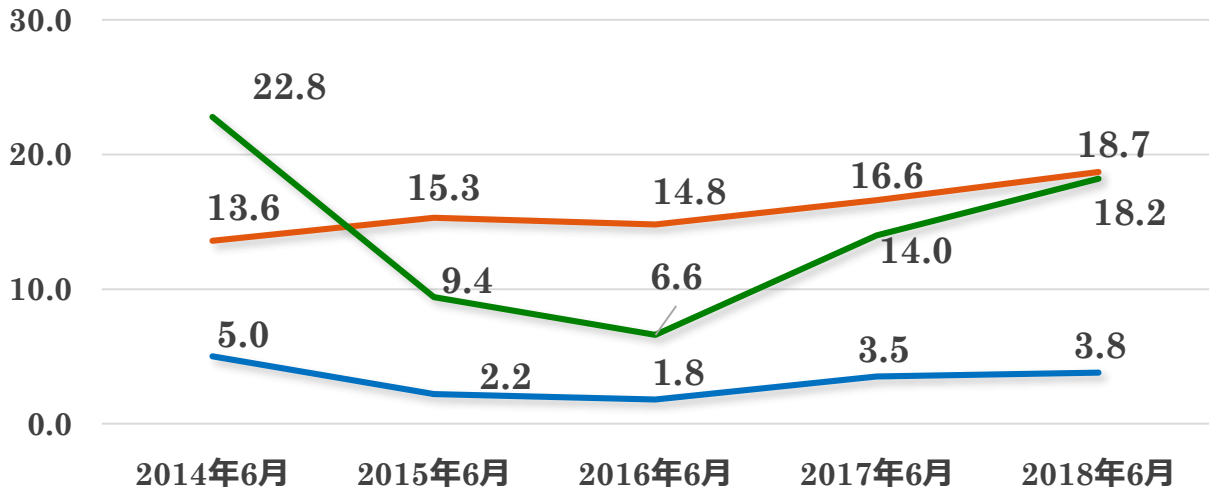
事業別売上高推移


医療器材
SPD
介護用品
億円
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
10
95
857
12
108
851
14
127
804
16
147
851
19
153
886
20
162
894
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年

連結経営指標の推移


営業利益
経常利益
親会社株主に帰属する当期純利益
純資産
自己資本比率 %
ROE %
ROA %


2,000
1,500
1,000
500
0
百万円
3,926
4,710
4,593
5,425
6,416
2014年6月
2015年6月
2016年6月
2017年6月
2018年6月


30.0
20.0
10.0
0.0
22.8
13.6
15.3
14.8
16.6
18.7
9.4
6.6
14.0
18.2
5.0
2.2
1.8
3.5
3.8
2014年6月
2015年6月
2016年6月
2017年6月
2018年6月

競争優位性

強み

■専門志向

- 顧客との信頼関係
- メーカーとの協力体制
- 人材教育
- 整形トップシェア
- ブランド性

■成長領域・川上を志向！

- 新市場開拓、収益性アップ

■エリア展開

- 大都市圏のシェア

■弱い領域

- 透析など

■生産性向上！

- デジタル営業ツール
- 情報共有システム
- 物流システム開発中

業界全体の
物流管理・IT化の遅れ

弱み

自己紹介：前島 洋平

平成　3年	岡山大学医学部修了、同第三内科入局
平成　9年	岡山大学大学院医学研究科（内科学） 修了・医学博士　専門：腎臓内科
平成10年	米 ハーバード大学医学部 Beth Israel Deaconess Medical Center 腎臓内科部門に研究留学
平成13年	岡山大学病院 第三内科助手
平成21年	岡山大学病院 講師　血液浄化療法部副部長
平成23年	岡山大学院医歯薬学総合研究科・教授 〈CKD・CVD地域連携・心腎血管病態解析学〉
平成26年	カワニシホールディングス　取締役
平成27年	同上　代表取締役社長
平成30年	GLOBIS経営大学院　修了

※各病院の名称は現在のもの

カワニシグループの経営理念

～グループ社員憲章　事業経営の社会的意義～

- 広く国家・社会的視野において公益性を高め、国民医療の品質向上とコスト合理化に寄与することを志す。
- 臨床・基礎両面にわたる医療の発展と、顧客の経営能力向上への貢献を志す。

代表取締役社長
前島 洋平

～グループの理念～

■革新的な新機能・新技術の恩恵を患者と医療機関に適切に提供する

『ビジネスを通じて、医学・医療の発展に貢献する』
➡学術本部, 社員教育, 医工連携

国民の、健康寿命の延伸に寄与する

Sustainable Development Goals
（SDGs: 持続可能な開発目標）

2015年9月の国連総会で採択された「我々の世界を変革する： 持続可能な開発のための2030アジェンダ」と題する成果文書で示された具体的行動指針

当社としてのSDGs活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

ミッション

先端医療機器
開発/導入

医工連携
産官学医連携

2019年6月期
第2四半期業績概要

2019年6月期　第2四半期累計期間　連結業績

	百万円	予算比	前期比
売上高	54,381	97%	100%
売上総利益	5,507	98%	100%
%	10.1	+0.1	+0.0
販管費	4,928	98%	102%
営業利益	579	100%	82%
経常利益	583	100%	83%
親会社株主に帰属する四半期純利益	371	102%	63%

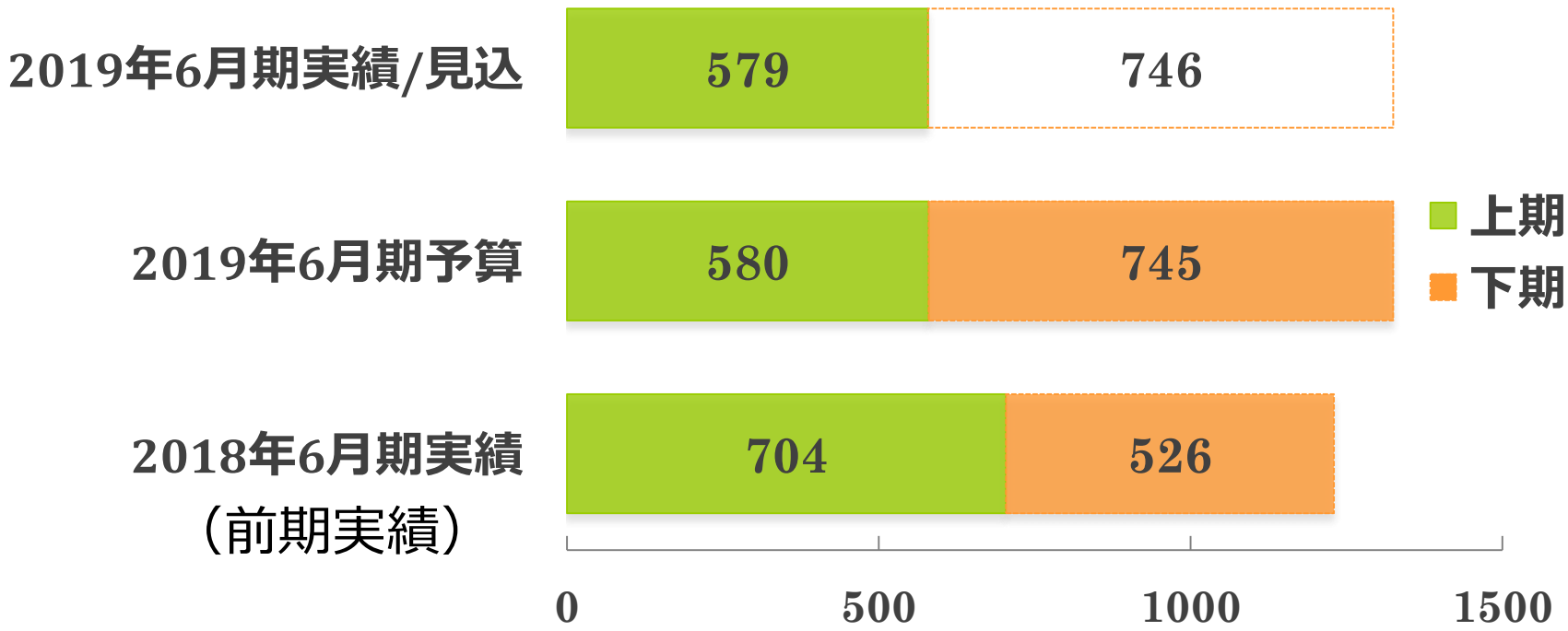
1株当たり当期純利益　66.26円

営業利益の動向

前期実績は上期の比重大
今期計画は下期の比重大
（例年傾向）

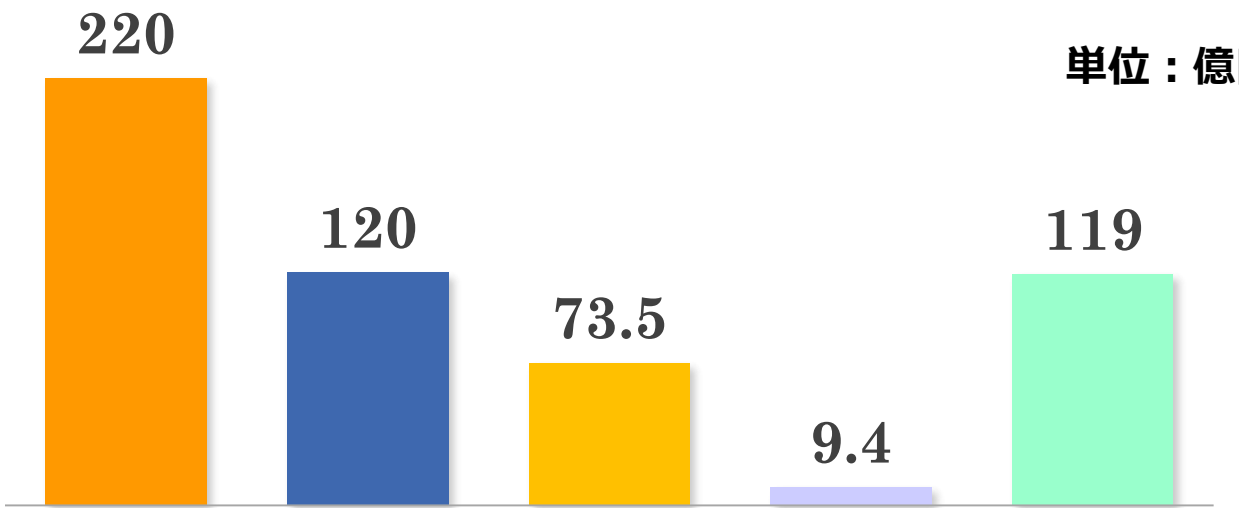
下期のポイント

- 消耗品ベースアップ施策
- 仕入交渉
- 備品案件の積上げ（受注）

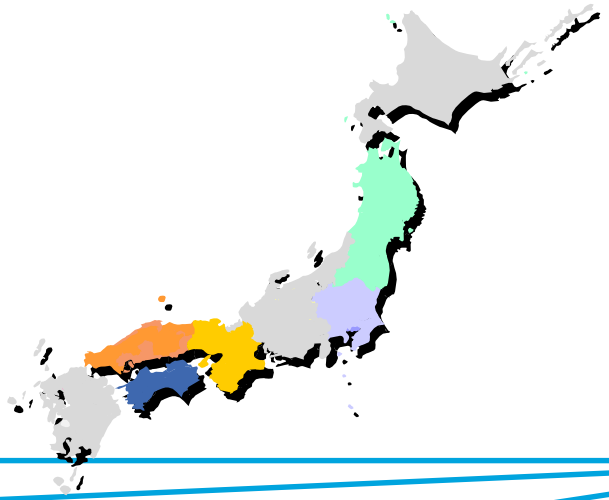


地域別売上高

単位：億円



	中国	四国	近畿	関東	東北
前年同期比	100%	98%	97%	90%	103%

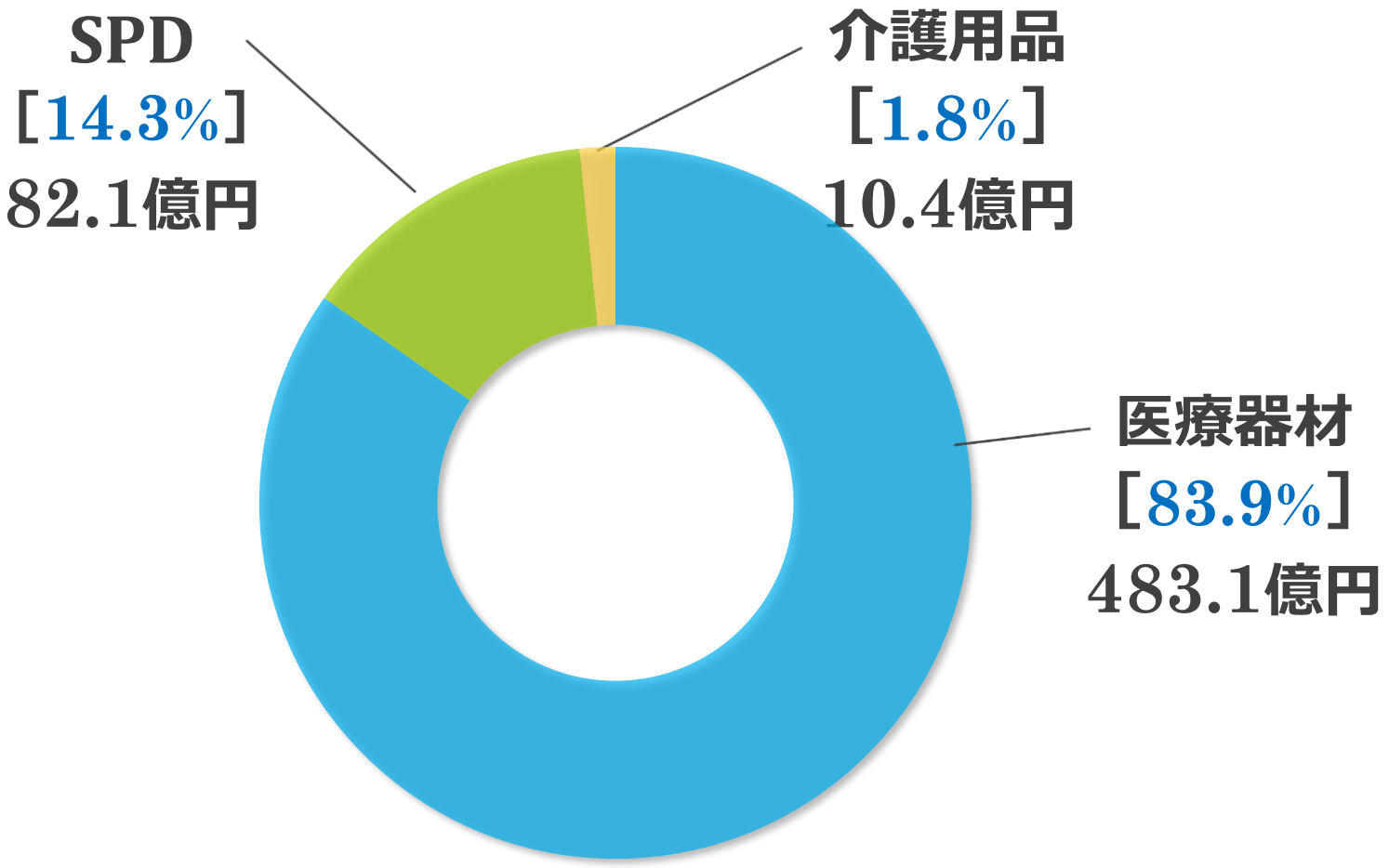


※売上高は連結調整後
今回より一部集計方法の変更により
前年同期比が昨年の実績に基づく
計算と一致しない場合があります。

2019年6月期
第2四半期事業別業績

事業別の売上高構成

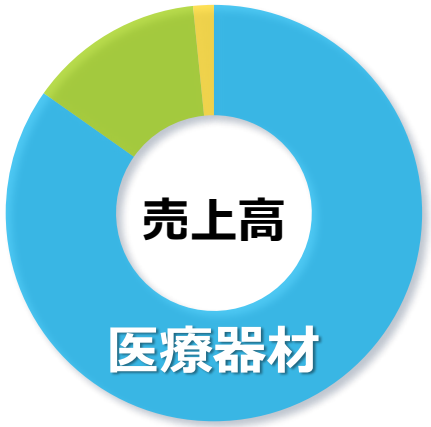
連結売上高：543億円



※各セグメント売上高は内部売上高含む。

医療器材事業の売上高構成

百万円	実績	予算比	前年同期比
売上高	48,299	97%	99%
営業利益	630	97%	85%



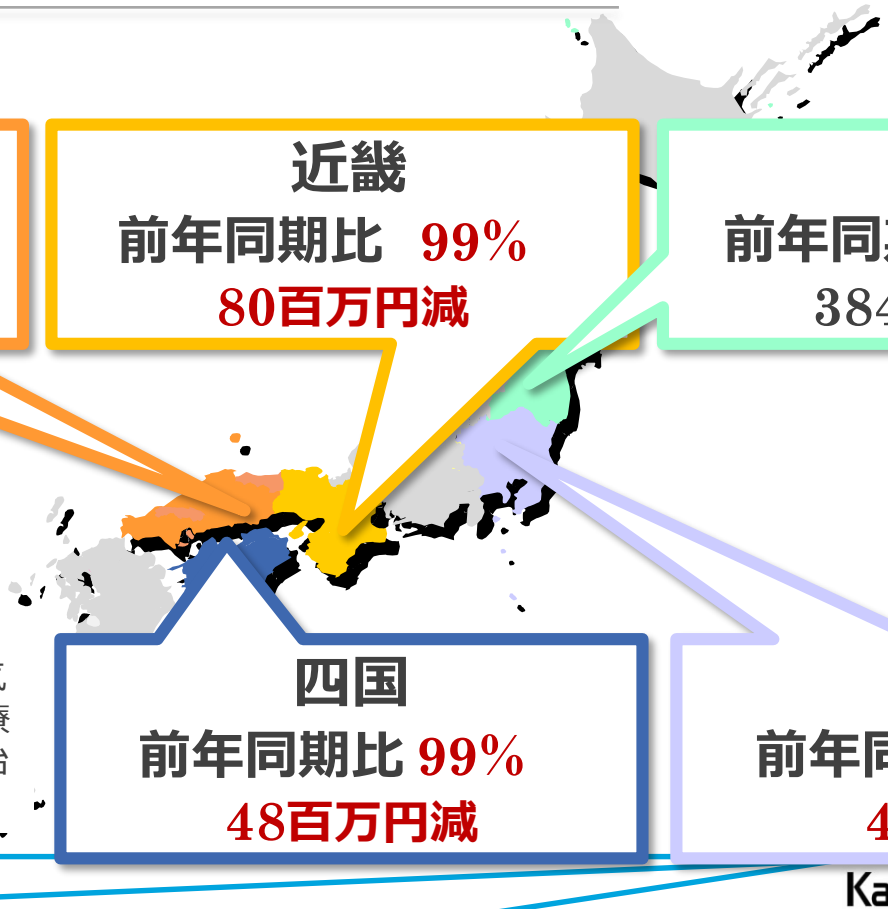
百万円	売上高実績	前年同期比
カワニシ	30,819	99%
サンセイ医機	12,889	102%
日光医科	4,606	96%

※各セグメント売上高は連結調整前

医療器材事業（消耗品売上高）

●手術	102.7%	鳥取134%　山口112%　宮城202% 糖尿関連　120%
●整形	100.1%	一部失注を新規顧客獲得でカバー
●循環器	100.2%	償還改定の影響 ABL*1 111%　TAVI*2 153%

売上高417億円
前年同期比 101.3%



中国
前年同期比 102%
336百万円増

近畿
前年同期比　99%
80百万円減

東北
前年同期比 105%
384百万円増

四国
前年同期比 99%
48百万円減

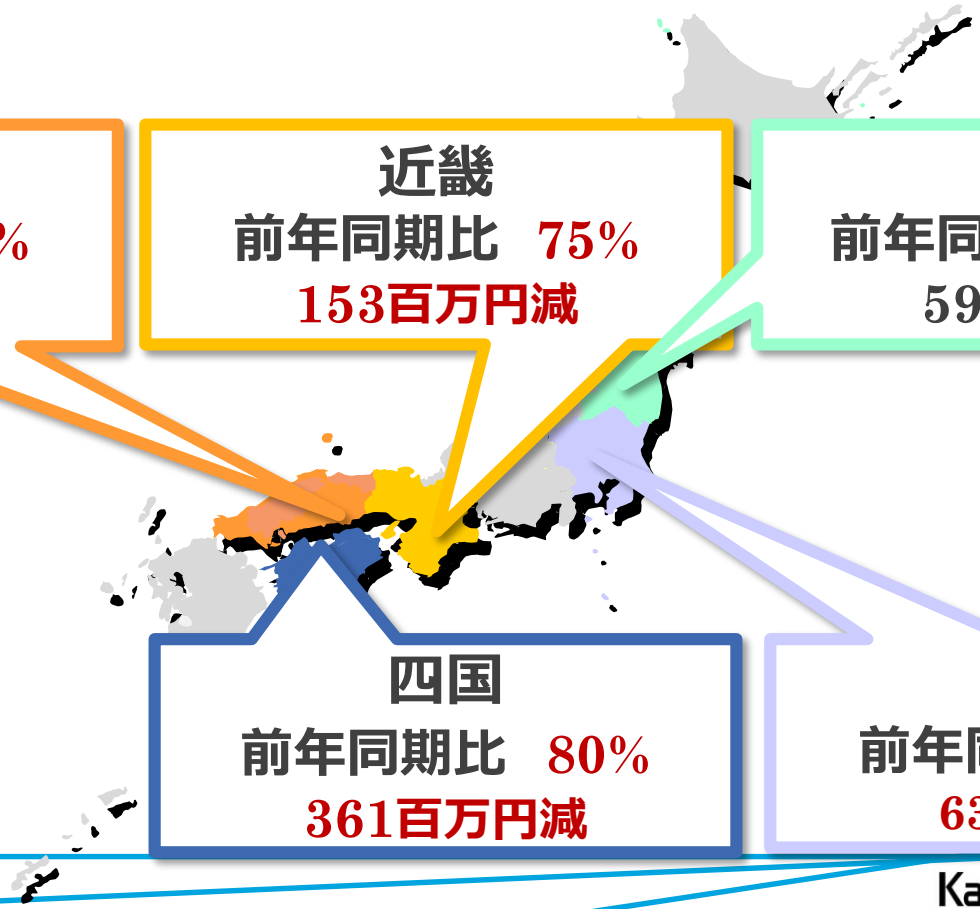
関東
前年同期比 96%
41百万減

*1 ABL：頻脈の原因になる異常な電気興奮路を焼灼または冷凍で遮断する治療
*2TAVI：人工弁を低侵襲に留置する治療

医療器材事業（備品売上高）

- モダリティ更新受注（CT・MRI・超音波診断装置）
- 新築特需2件も前期特需規模に至らず

売上高65億円
前年同期比 92.4%



中国
前年同期比 99%
16百万円減

近畿
前年同期比 75%
153百万円減

東北
前年同期比 102%
59百万円増

四国
前年同期比 80%
361百万円減

関東
前年同期比 24%
63百万円減

SPD事業

HOSNET ホスネット・ジャパン

百万円	実績	予算比	前年同期比
売上高	8,210	100%	101%
営業利益	33	203%	100%

◆新規に契約 した施設が順調に稼動
　四国地域で前年同期比108%

◆業務プロセス（サービス）及び管理料の見直し

契約総数
直接　61件 FC　13件

介護用品事業

ライフケア

百万円	実績	予算比	前年同期比
売上高	1,040	97%	104%
営業利益	49	105%	108%

◆新規開拓 前年同期比

・福島県106% ・宮城県110% ・愛媛県117%

◆在宅レンタル用品 前年同期比105%

◆介護・療養型施設への器材販売順調　107%

連結貸借対照表・C/F計算書

連結貸借対照表

百万円

資産	金額	増減
現金・預金	3,032	1,616
売上債権	22,584	2,201
商品	4,898	303
その他	781	▲185
流動資産計	31,296	3,937
有形固定資産	3,839	86
無形固定資産	349	107
投資その他資産	1,901	▲178
固定資産計	6,090	16
資産合計	37,387	3,953

負債・純資産	金額	増減
仕入債務	24,376	2,664
短期借入金	3,164	1,429
その他	1,200	▲578
流動負債計	28,741	3,514
長期借入金	1,025	698
その他	1,156	▲320
固定負債計	2,181	391
負債合計	30,922	3,905
純資産合計	6,464	47
負債純資産合計	37,387	3,953

※増減は前期末比

1株当たり純資産　1,133.01円

連結キャッシュフロー計算書

百万円	18年6月期 第２四半期	19年6月期 第２四半期
税引前利益	731	537
減価償却費	138	172
売上債権の増減額(▲は増加)	▲4,133	▲2,203
たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲476	▲303
仕入債務の増減額(▲は減少)	3,454	2,664
その他	▲751	▲880
営業キャッシュフロー	▲1,038	▲13
有形固定資産取得による支出	▲105	▲115
無形固定資産取得による支出	▲111	▲148
その他	92	26
投資キャッシュフロー	▲124	▲237

連結キャッシュフロー計算書

百万円	18年6月期 第２四半期	19年6月期 第２四半期
短期借入金の純増減額（▲は減少）	1,500	1,200
長期借入れによる収入	―	1,100
長期借入金の返済による支出	▲152	▲172
配当金の支払額	▲167	▲219
その他	▲14	▲33
財務キャッシュフロー	1,165	1,875
現金・現金同等物の増減額(▲は減少)	2	1,624
現金・現金同等物の期首残高	2,169	1,359
現金・現金同等物の期末残高	2,172	2,983

2019年6月期業績見通し・
配当の基本方針

2019年6月期　連結予算（見通し）

	百万円	前期比
売上高	110,881	103%
売上総利益	11,368	103%
%	10.3	+0.1
販管費	10,043	103%
営業利益	1,324	108%
経常利益	1,336	108%
親会社株主に帰属する当期純利益	861	＊82%

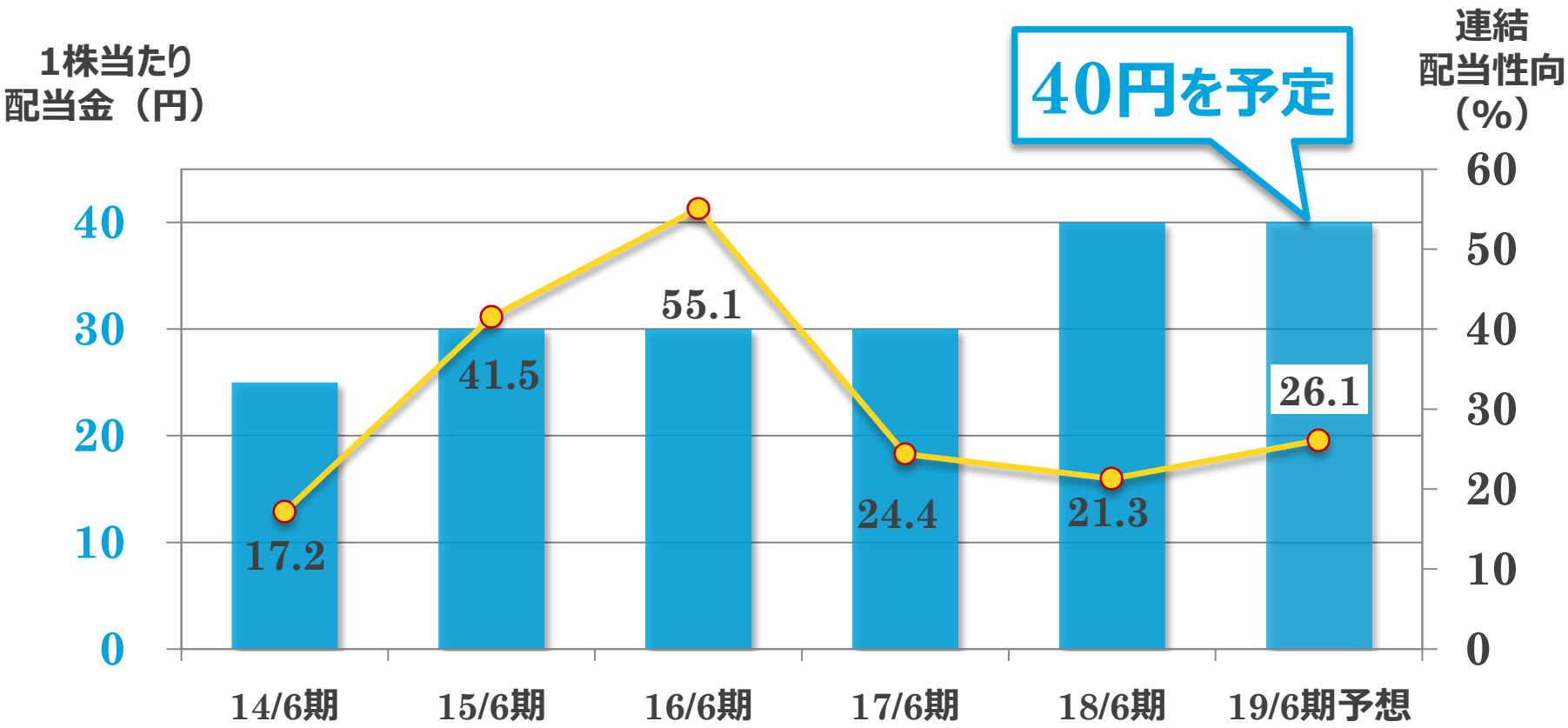
１株当たり当期純利益 予想　153.54円

＊ 前期発生の退職給付制度の変更にともなう特別利益、および繰延税金資産の回収可能性の見直しによる税負担の軽減が、今期発生の見込みがないことによる

配当の基本方針

① 安定的な配当を継続します

② 成長投資に備え内部留保に努めます



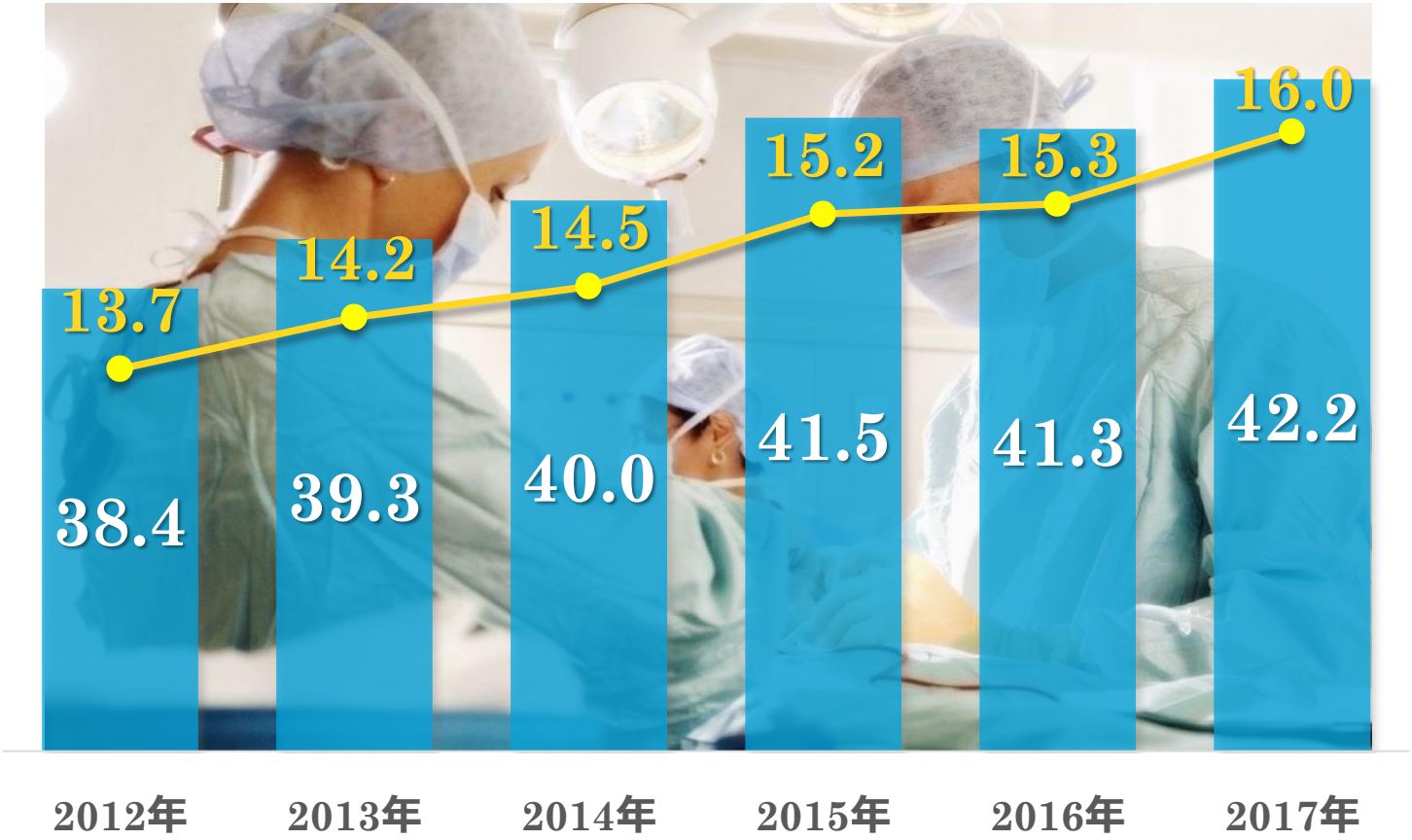
株主数(人)	2,325	5,122	4,904	5,312	5,558	ー

市場動向と中期展望

日本の国民医療費の動向

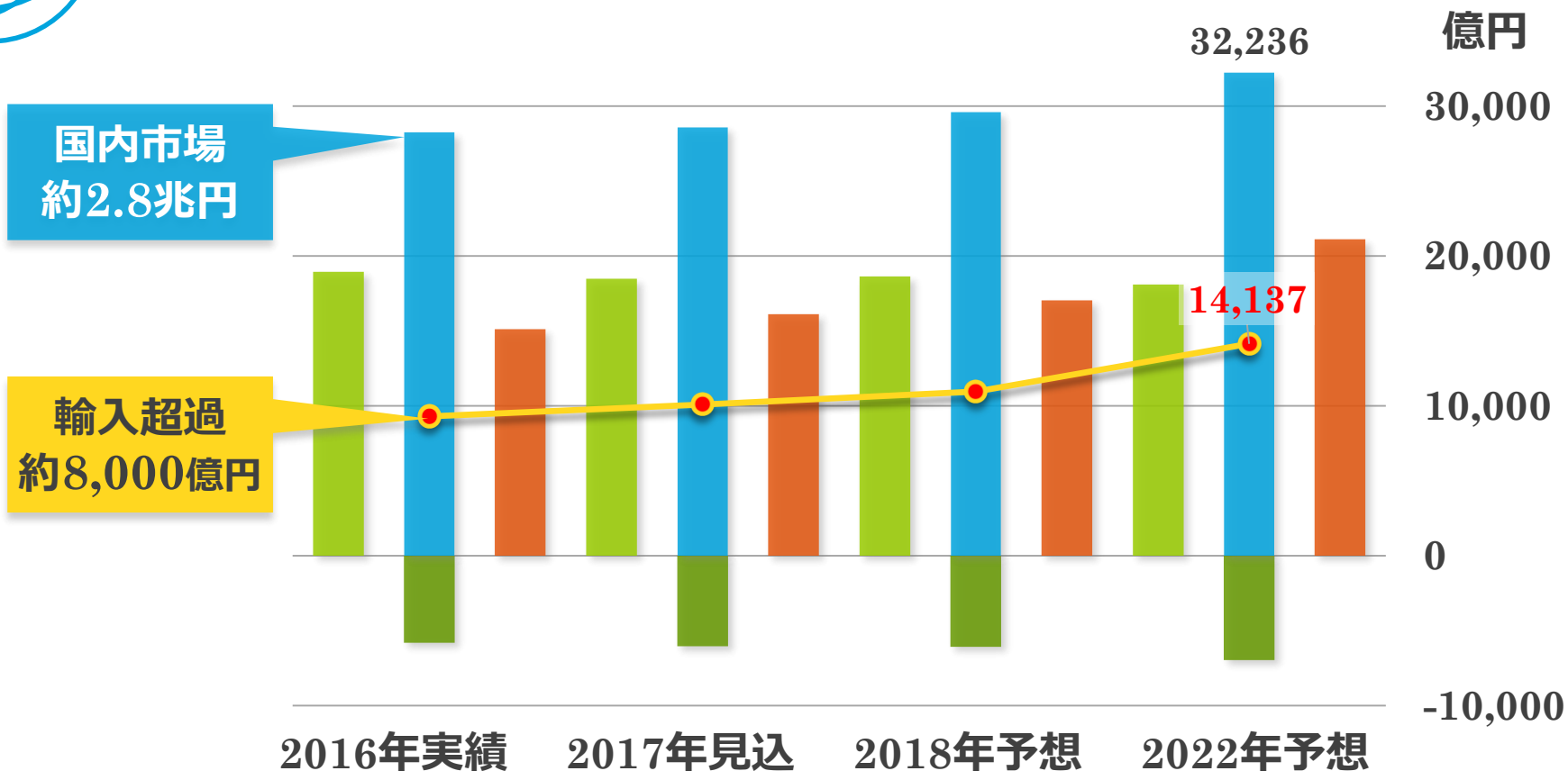
◆2017年は42兆円を超える

◆継続的な医療費抑制策・・・費用対効果も検証



厚生労働省　最近の医療費の動向－2018年９月公表

医療機器市場



年平均成長率 2017-2022	国内生産	輸出	輸入	国内市場	輸入超過
	▲0.4%	2.9%	5.5%	2.4%	ー

2016年薬事工業生産動態統計　2017年以降みずほ銀行　産業調査部予測

国家プロジェクト参画
MEDICAL TAKUMI JAPAN

日本人医師の 巧 の手技 × 日本のものづくり企業の 匠 の技

国家プロジェクト マネージャー：北野学長（大分大学）、前島洋平（KWHD）

経産省 関東経産局 地域中核企業創出支援事業
H28/29/30年度 採択

対象市場
ASEAN等の新興国・欧米

国産医療機器を、日本人医師による手術等の
動画コンテンツと共に海外の医師等に紹介

医療・介護の行政動向

	2017	2018	2019	2020
償還価格		4月改定	●10月改定	4月改定
消費税10%			●10月増税	
病床再編			●病床報告制度見直し 急性期の基準手術件数等	
R-SUD 単回使用品再製造	7月制度施行	ホギ・メドライン参入	*1 製造承認 *2 保険償還価格設定 ＊（当社推測）	
介護保険法	保険見直し 利用者負担増	7月レンタル 平均価格公表 上限規制		

中期経営計画の重点テーマ

2018/6期～2020/6期　労働生産性の向上

新たな収益源の獲得

新規市場開拓

医工連携
- 改良品開発
- 市場調査受託
- 販路開拓支援

輸入販売[エクソーラ]
- 2020/6期 上市予定

合理化・効率化

QC活動
- サービス有償化
- 無償サービス見直し

IT化推進

物流合理化
業務合理化

仕入改善
売価統制

労働時間削減
- 36協定完全順守

人員配置適正化

働き方改革・人材育成

マネジメント教育
KBS中級篇開講

健康経営

中期計画「前半」の重点施策

	新たな収益源の獲得	合理化・効率化	働き方改革/人材育成		
KW	●ストックビジネス確保	●仕入交渉強化 ●備品利益率向上 ●人員適正配置	●計画的有休 ●図書補助		
SNS	●医工連携関連 8K Mikoto カッツェ等	●消耗品強化 ●購買力の強化	●残業削減	●振休取得	●KBS中級
NK		●売価交渉強化 ●営業支援体制構築			
HOS	●新規施設獲得	●管理料、物販益UP ●人員適正配置		●振休取得	
LC	●住宅改修の自社施工 ●他社から利用者引受	●自費ベッドレンタル廃止 ●営業特化型事務配置	●有休		

中期計画「後半」の重点施策

	新たな収益源の獲得	合理化・効率化	働き方改革/人材育成
KW	リース・レンタル等強化 外科・DM・ロボット 強化	新規参入(山口・徳島) 商権拡大(広島・山口)	
SNS	県外強化(東京・仙台・栃木) 備品の消費増税対応	グループ共通システム導入 組織体系見直し	
NK	人員補充・スペシャリスト育成 各拠点営業支援配置	地域展開(大阪北部・東部)	
HOS	定型業務システム化	システム販売SPD 営業力強化研修	
LC	レンタル利益率向上へ 新顧客開拓	新地域展開	

医療機器輸入販売事業

乳がん～日本の場合

新たな収益源

年間9万人発症、13,000人が死亡

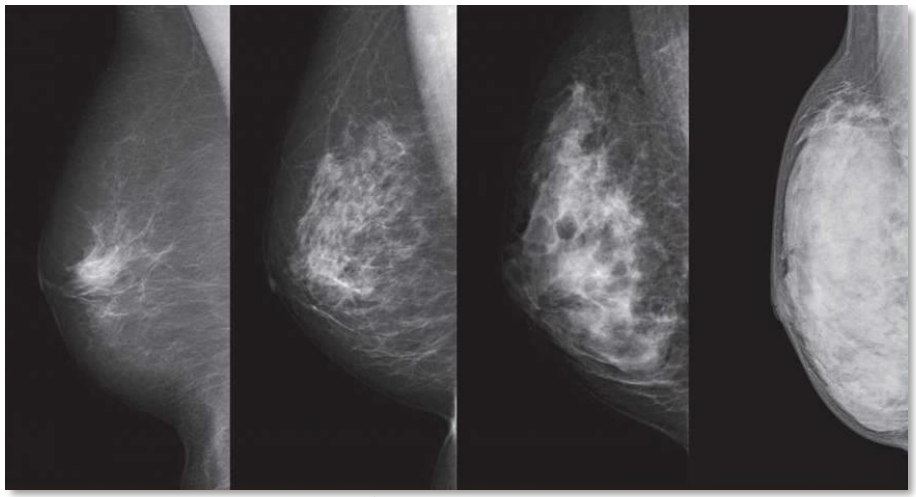
40代最多（欧米では60代）

高濃度乳腺が多く、マンモグラフィー検出率71%

超音波検査の併用により検出率が91%に改善

乳がん健診受診率も低い　41%（50～69歳）

–2015年: OECD Health Data–



高濃度

※NPO法人乳がん画像診断ネットワークより
https://bcin.jp/topics/51.html

呼気による乳がん検出システム

新たな収益源

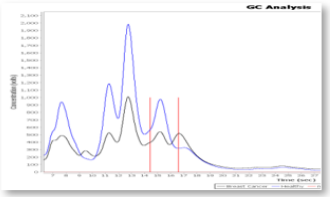
2017年5月	2018年	2019年	2020年	2021年
実証試験・AI解析・VOC※1特定		臨床試験	審査	承認～市販予定

呼気の有機化合物をカプセル内に吸着させる

被曝や痛みがなく簡便な取り扱い

分析装置でカプセル内の有機化合物を測定

測定結果を VOCs社サーバーにWebで自動的送信



AIでデータを解析し、乳がん特有の有機化合物を検知

結果を医療機関（被験者）に通知

*VOC：volatile organic compounds

揮発性有機化合物

医工連携

医療機器販売業参加型医工連携モデル

新たな収益源

臨床現場
ニーズ

コンサルティング

- 開発品市場調査
- 開発ニーズ収集
- 試作品改変提案
- 開発案への助言
- 適正使用の支援

製販企業

ものづくり
企業

地域産業
支援機関
経産省

マッチング・公費活用支援

中国経産局受託事業

新たな収益源

開発製品の販路開拓支援

「Gaglessマウスピース」
販路開拓

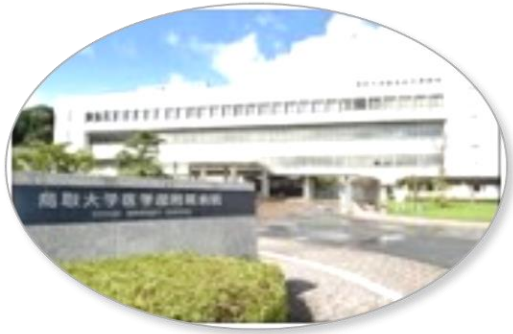
ニーズ発掘 開発案件創出

倉敷中央病院ニーズ発信会
2018/2

医の芽ネット

中国地域
医療機器関連産業
参入フォーラム

個別研究会 組成・実施



鳥取大学内ニーズ評価
システム構築サポート

開発製品の市場調査

mikoto市場調査

医療教育用シミュレーターロボット

新たな収益源

株式会社　MICOTOテクノロジー

H28年度 医の芽ネット 販路開拓支援商談会案件

国内総販売代理店：エクソーラ・メディカル

① 人を再現したリアルな外観・内部造形

② 挿管困難症例の再現

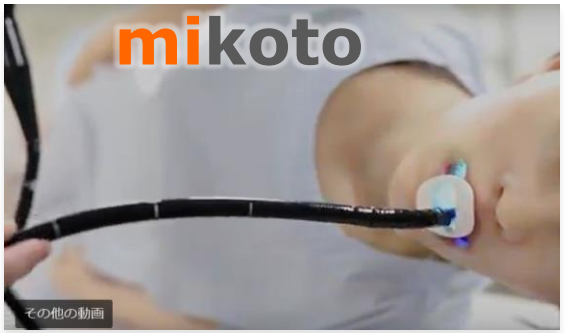
③ 気管挿管・内視鏡検査・喀痰吸引の手技

④ 咽頭後壁等の圧センサーによる生体反応

⑤ 反応強度や手技時間を点数評価（客観性）

販売	シングルタスク	４台
	マルチタスク	ー
販売見込	シングルタスク	６台
	マルチタスク	３台

販路開拓支援



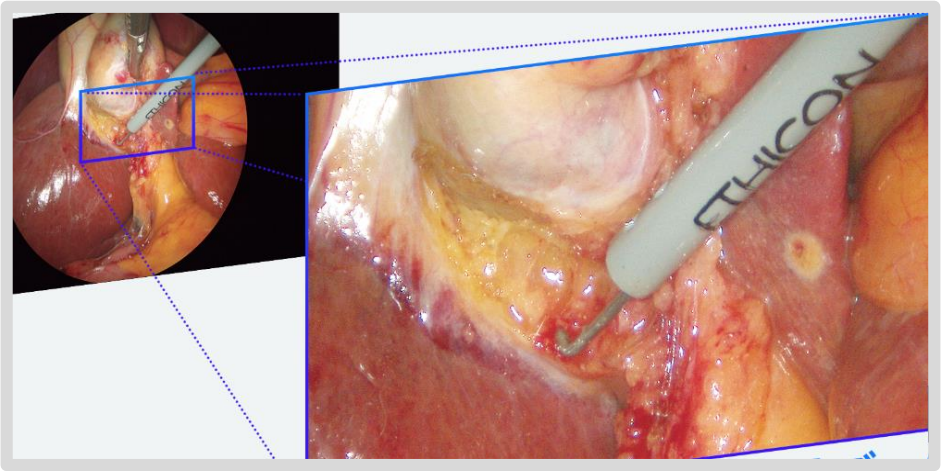
シミュレータ拡充

胃・十二指腸・気管支のモデル追加

カイロス8Kで医療が変わる

新たな収益源

- 超高解像度（2Kの16倍）
- 組織境界、細い血管、出血箇所が見える
  →健常な組織の温存
- 広い手術空間を確保
  →手術器具の干渉軽減
  →術者のストレス軽減
- 3D立体視、AI自動診断へ



カイロス社Webサイトから

8K Showroom　デモ機展示・ワークショップ

◆ メーカー戦略品の小規模セミナー
◆ 鏡視下結紮トレーニング
◆ 内視鏡トレーニング

岡山・広島で開設
福島はデモ機設置

カイロス社は
エア・ウォーター社の
傘下へ
販売体制は継続

成長市場 ロボット支援手術

新たな収益源

保険適用（従来）

前立腺がん全摘術

腎がん部分切除

2018年4月拡大

1. 縦隔悪性腫瘍手術
2. 良性縦隔腫瘍手術
3. 肺悪性腫瘍手術
4. 食道悪性腫瘍手術
5. 弁形成術
6. 胃切除術
7. 噴門側胃切除術
8. 胃全摘術
9. 直腸切除・切断術
10. 膀胱悪性腫瘍手術
11. 子宮悪性腫瘍手術
12. 膣式子宮全摘術

手術台
SOT-100
Vercia™

川崎重工業　webサイトより

内視鏡
スコープホルダー
EMARO

ホギメディカル　webサイトより

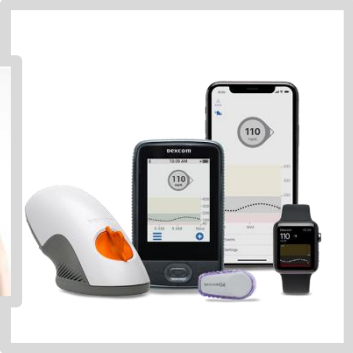
糖尿病 持続血糖測定＋インスリンポンプ

新たな収益源

携帯型ポンプでインスリンを皮下に持続的に注入する（保険適用）

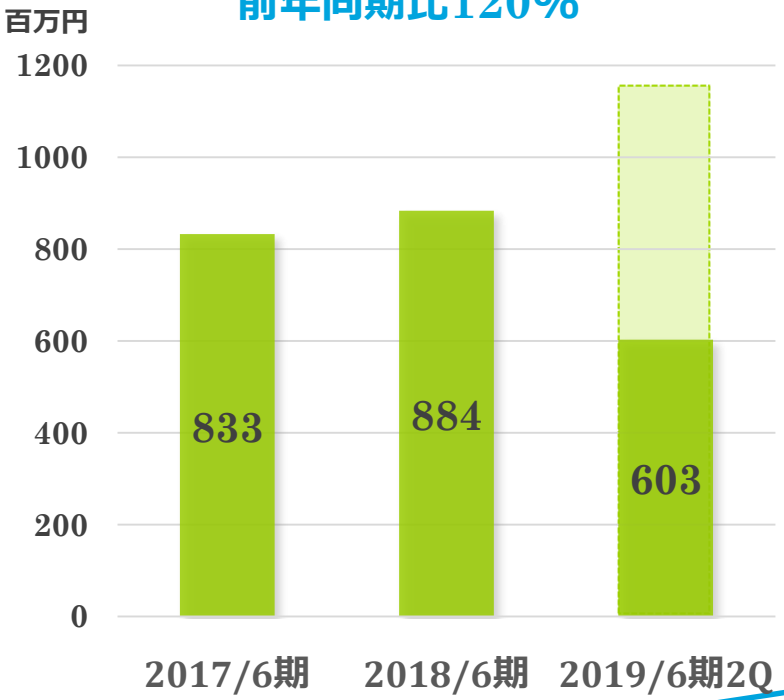
- 持続血糖測定（CGM）　アボット・Dexcom（テルモ）
- インスリンポンプ　Medtronic・テルモ
- SMBG消耗品　ロシュ

インスリンの注射（1日4回）に比べ
低血糖状態が少なくなるなど、
血糖コントロールが効果的に行える



Dexcom Webサイトより

グループ血糖管理売上高
前年同期比120%



SPD事業・介護用品事業

SPD事業

●経営サポート

院内物流・医事請求・購買支援

●手術室効率化支援

術式セット・術間清掃⇨効率化

◇新規案件10件超

●サービス見合う管理料（アップ）

⇨収益性改善

●販売型SPDシステム開発

中小病院向け

病院自主運用で双方のコスト低減

メンテナスサポート

●OCR（光学文字認識）

⇨業務集約と効率改善

●急性期の薬剤管理SPD受託

介護用品事業

2017年8月

高額介護サービス自己負担増

月額上限　37,200円⇨44,400円

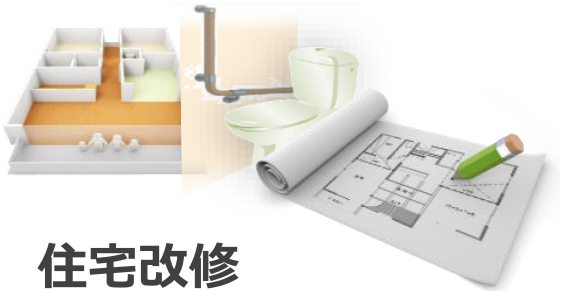
2018年7月　レンタル平均価格公表

2018年10月　上限価格設定実施

⇨ほぼ影響なし

回復期病床＆地域医療連携室へ

在宅医療機器ニーズへ対応

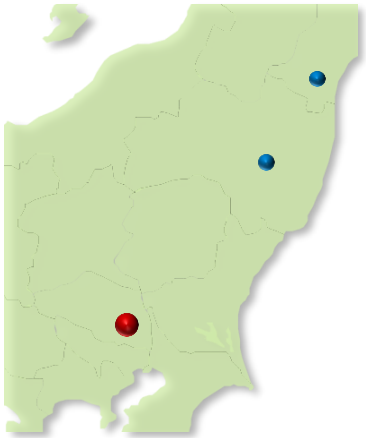


住宅改修

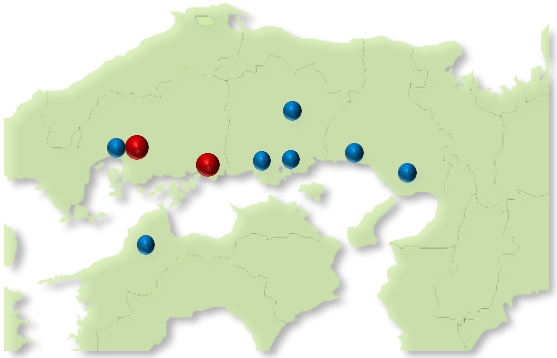
介護保険外商品拡販

介護用品事業

「施設から在宅へ」の政策要請に対応



営業基盤拡大



既存エリアシェアアップ

- **地域展開再開（新規・既存両エリア）**
- **レンタルサービス**
  - ⇨協力商品・新商品の投入（利益率改善）
  - ⇨撤退同業社の利用者引き受け
  - ⇨同業他社とのアライアンス（事業承継）
- **特販事業の拡販**
  - ⇨既存施設の案件追加と深耕
- **住宅改修自社施工**
  - ⇨在宅復帰需要・保険外工事獲得

業務の合理化・効率化

物流統合システム

合理化・効率化

モバイルの活用・・・貸出業務の簡素化

在 庫	商品の移動	貸 出
・社外棚卸	・倉庫返却	・使用売上
・在庫照会	・緊急持出	・貸出補充

整備予定

2018年5月～　設計開発開始

2019年9月～　順次　カワニシ拠点へ導入を計画

その後　　グループ会社へも展開検討

SEAOS　物流統合システム　共同開発　シーオス㈱

ITの業務効率化事例

合理化・効率化

ユーザー登録の自動化　▲10ｈ/月

KWHD　RPA活用

2月稼働予定

入社連絡　定型フォーマット　複数システムにユーザ自動登録

RPA：robotic process automation

紙からのシステム入力の自動化　▲160h/月

スキャナ活用

6月稼働予定

様式の異なる業者の伝票をデータ化し、自動登録

OCR　HOSNET　スキャナ取込　データ化　自動登録

コーポレート・ガバナンス　ほか

コーポレート・ガバナンス体制

1. 指名・報酬委員会の設置（2018年7月13日設置）

①. 設置の目的

取締役、監査役及び執行役員の指名並びに取締役及び執行役員の報酬等に係る取締役会の機能の客観性、適時性及び透明性を高めるとともに、説明責任を強化し、コーポレート・ガバナンスの更なる充実を図るため、指名・報酬委員会を設置する。

②.「指名・報酬委員会」のメンバー構成

（１）代表取締役社長、取締役管理本部長、社外取締役及び社外監査役各１名

（２）委員長　社外取締役

2. 独立社外取締役の増員

・取締役の３分の１が独立社外取締役（９名中３名）

・メンバーの多様性（女性取締役1名、医師、上場会社経営者、金融業界出身）

コーポレート・ガバナンス　株式報酬制度の導入

1．導入の目的

・取締役の報酬と当社の株式価値との連動性の明確化

・取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有

・取締役が中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高める

・併せて、役員退職慰労金制度の廃止

2．制度の概要

項目	内容
導入制度	株式交付信託
対象期間	2018年9月から2021年9月（３年間）
対象者	取締役（社外取締役除く）
信託金の上限	50百万円／年間
ポイント数の上限	35,000ポイント／年間
株式交付時期	取締役の退任時
信託受託者	三井住友信託銀行

Medical Globe関連

海外の先端医療機器

海外医療情報誌

Medical Globe 100号

発行㈱カワニシホールディングス

海外情報は、**クラリベイト・アナリティクスならびにAHC Media LLC.と提携**し、同社の誇る最新のグローバル情報の中から厳選したコンテンツを、日本語版のダイジェストで提供しています。

2010年10月創刊

購読先　医療機器メーカー・医療機関・大手製薬会社・大手シンクタンク

日本医工ものづくりコモンズ MINCの会
「海外医療機器の最新動向勉強会」

Medical Globeを参考に、

海外の最新の医療機器情報について多業種間で情報を共有

医師・メーカー・経済産業省・厚生労働省・特許庁・AMED・PMDA・

当社編集部が参加、意見交換　〈2017年10月～スタート〉

第8回 ：2019年1月16日　NCGM（国立国際医療研究センター）で開催

参考資料

連結経営指標等の推移①

項目	単位	2013/6	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6
売上高	百万円	96,223	97,137	94,515	101,460	105,778	107,663
営業利益	百万円	1,556	1,440	668	543	1,044	1,230
経常利益	百万円	1,534	1,519	662	556	1,112	1,235
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	943	816	405	305	690	1,054
純資産	百万円	3,245	3,926	4,710	4,593	5,425	6,416
総資産	百万円	31,663	28,958	30,738	31,049	31,774	33,617
BPS	円	578.43	699.75	839.59	818.77	942.77	1,121.32
EPS	円	168.12	145.54	72.23	54.49	123.10	187.86
自己資本比率	%	10.3	13.6	15.3	14.8	16.6	18.7
ROE	%	34.1	22.8	9.4	6.6	14.0	18.2
ROA	%	5.1	5.0	2.2	1.8	3.5	3.8
PER	%	7.32	7.79	18.27	20.83	12.71	8.42

連結経営指標等の推移②

項目	単位	2013/6	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6
営業CF	百万円	2,060	926	▲2,113	710	871	▲314
投資CF	百万円	▲448	▲401	▲388	▲705	▲99	▲269
財務CF	百万円	▲545	▲2,885	626	▲208	▲741	▲227
現金及び現金同等物	百万円	6,532	4,171	2,296	2,092	2,169	1,359
有利子負債	百万円	4,619	1,888	2,691	2,676	2,081	2,061
従業員数	人	1,034	1,082	1,141	1,203	1,179	1,163
うち医療器材	人	740	783	826	860	875	860
うちSPD	人	143	146	152	167	166	155
うちﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	人	49	41	40	41	-	-
うち介護	人	75	79	94	102	107	113
うち輸入販売	人	-	-	-	-	2	2
うち本社	人	27	33	29	33	29	33

※2017/6より、ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ事業は医療器材事業に統合しています。

会社情報・問い合わせ先

【事業年度】	毎7月1日から翌年6月30日まで
【定時株主総会】	毎年９月開催
【上場証券取引所】	東京証券取引所（市場第二部） 証券コード　2689
【単元株式数】	100株
【お問い合わせ先】	株式会社カワニシホールディングス 常務取締役管理本部長　村田　宣治 TEL：　086-236-1115 FAX：　086-236-1116

・本資料で提供されている情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

・資料に掲載された意見や予測は、資料作成時に入手可能な情報に基づく当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についても何ら補償するものではありません。記載された内容が予告無しで変更される場合もあります。

・本資料は、当社を理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。投資に関する最終的な意思決定は投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。